

千葉中央での思い出

小林 紗季

私が千葉中央に入った理由は、市のバレーボール教室です。せいあママにチラシをもらい、初めて泉谷小に体験に行きました。その時、監督や山川コーチにチームの約束は必ず守る事、挨拶はしっかりする事、言われた事（注意された事）はすぐに直す事、この3つはしっかり守って下さい、と言われた事を今でもはっきりと覚えています。

Bチームの時、丸山コーチに何度も言われた言葉「練習は嘘をつかない」私達の今までの成績と練習態度はまさにこの言葉と合っていると思いました。一生懸命やっても上手くなっているのかわからないけれど、私はきっと上手くなっていると信じていました。

9月7日岩槻遠征、私がキャプテンになったのはこの日でした。キャプテンが一番大変な役目で覚悟はしていました。けれど、思っていた以上こえる壁は高くみんなをまとめる事もあまりできず、みんなに迷惑をかけるばかりでした。どうしたらいいチームに近づけるか、せめて近づくだけでもいいからと思ったけれどダメでした。

いつもの試合でも、思うような試合ができず5年生にも迷惑をかけたなと思いました。

でも、キャテンをやるととても充実感があり今まで味わえなかった事も味わえて、次に繋がるのではと思いました。

監督、コーチこんな私達を今まで、そしてここまで育ててくれてありがとうございます。千葉中央に入って良かったなと思うことがたくさんあります。そしてここまで学んだ事は中学校に行っても、そして高校に行っても忘れず生かしたいと思います。今まで一緒にバレーボールをやってきた仲間達は最高でした。そして一生忘れません。

今までやってきた3年半は苦しい、悲しい、うれしい、色々な気持ちを実感しました。中学に行っても中央で学んだ事を生かし頑張ります。

監督、コーチ、お母さんやお父さん今まで私達を支えてくれて本当にありがとうございました。